

### ■5/26 令和2年度 定時会員総会を開催

令和2年度の定時会員総会を工業技術センターにおいて31名（委任状84名）が出席して開催しました。開催に当たっては、出席者を理事中心に絞り、ソーシャルディスタンスの確保、窓の全開など新型コロナウイルス感染防止策を十分にとった開催でした。

山崎会長がケガで欠席のため議長に安岡筆頭副会長を選出後、第1号議案から第6号議案の議事について審議を行い、すべての議案が全会一致で承認されました。役員の変更では、2名の理事及び監事を新たに選出しました。なお、任期は令和3年度の会員総会終結時までとなります。

また、続いて開かれた理事会において、常務理事に新任理事の彼末和幸氏を選定しました。なお、同氏が兼任となる事務局長には7月1日から就任します。

#### ○新任の理事（常務理事）および監事

	氏名	企業名等	役職名
理事	大野 正明	(株)技研製作所	取締役
常務理事	彼末 和幸	土佐青少年育成会	常務理事・事務局長
監事	得富 敬資	商工中金高知支店	支店長
	栗山 典久	高知県産業振興センター	副理事長兼専務理事

#### ○退任した理事（常務理事）および監事

	氏名	企業名等	役職名
理事	田内 宏明	(株)技研製作所	取締役
常務理事	西内 豊	高知県工業会	常務理事・事務局長
監事	長岡 秀明	商工中金高知支店	支店長
	中川 雅人	高知県産業振興センター	副理事長兼専務理事

### ● 令和2年度の活動方針

本年度は新たな協定を締結したことにより、関係機関との一層の協力・連携を図って各種事業を推進するとともに持続可能な活動が展開できる事業基盤の確保に努めて参ります。また、コロナの影響を受ける会員企業の実態などを把握し、適宜、県などに要望活動を行います。

本年度の新しい取り組みとして、以下の事業に高知県及び高知県産業振興センターと連携して取り組んでまいります。

- ① 生産性向上支援委託事業 ※高知県委託事業
- ② 海外販路開拓支援事業 ※高知県産業振興センター補助事業

#### 活動方針

- 持続可能な活動を展開できる事業基盤の確保
- 関係機関との一層の協力・連携による事業の推進
- 会員（正会員・賛助会員）増強活動
- コロナ危機からの復調に向けた取り組み

## ●令和2年度 委員会活動

委員会名	主な取り組み内容および連携機関
<p><b>総務委員会 (海外部会)</b></p> <p>委員長：安岡副会長 海外部会長：井上理事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生産性向上支援事業の推進</li> <li>○高知県及び高知県産業振興センターとの合同意見交換会</li> <li>○会員企業の取組み事例発表会の開催</li> <li>○高知県議会商工農林水産委員会との交流</li> <li>○コロナの影響把握、県への要望活動等</li> </ul> <p>(海外部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○海外展開の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外販路開拓支援事業の推進</li> <li>・会員企業の海外展開推進</li> </ul> </li> </ul> <p>■連携機関：高知県、高知県産業振興センター</p>
<p><b>人材育成委員会</b></p> <p>委員長：坂本理事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○産業技術人材の育成</li> <li>○若年労働者の人材育成（人材の育成、定着）</li> <li>○中核人材の育成</li> </ul> <p>■連携機関：高知県工業技術センター、高知高等技術学校、高知職業能力開発短期大学校、ポリテクセンター高知、高知県中小企業団体中央会、高知県職業能力開発協会、高知県産業振興センター、産学官民連携センター</p>
<p><b>人材確保委員会</b></p> <p>委員長：志和理事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県内企業への就職促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業系高校との交流促進</li> <li>・高知高専との連携活動の推進</li> </ul> </li> </ul> <p>■連携機関：高知県教育委員会、高知県</p>
<p><b>受注拡大委員会</b></p> <p>委員長：濱村理事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規取引先の開拓               <ul style="list-style-type: none"> <li>・商談会及び見本市参加による販路拡大</li> </ul> </li> </ul> <p>■連携機関：高知県産業振興センター、高知県</p>
<p><b>高知のエジソン賞 委員会</b></p> <p>委員長：弘内理事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第17回高知のエジソン（垣内保夫）賞の実施</li> </ul> <p>■連携機関：高知県教育委員会、高知県産業教育振興会</p>
<p><b>匠和会</b></p> <p>会長：山本理事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こども鋳物教室の開催</li> <li>○スポーツ大会（ソフトボール、サッカー）の開催</li> <li>○プレゼンテーション実践研修</li> </ul> <p>■連携機関：高知市、高知県職業能力開発協会</p>

## ●令和2年度 高知県及び産業振興センターとの協力・連携事業

### ①生産性向上支援委託事業

#### 【目的】

本委託事業は、第4期高知県産業振興計画における柱の一つとして位置付けている「生産性の向上」の実現に向け、工業会会員企業を主な対象として現場改善のサポートを実施することで、県内の機械金属系受注企業の改善意欲を喚起し、生産性向上の促進を図ることを目的とします。

#### 【事業概要】

高知県からの委託により、当会に「生産性向上推進アドバイザー」を配置し、同アドバイザーが機械金属系の受注企業を訪問し、5Sの推進や工程改善等への助言及び実行計画策定支援を行い、省力化による生産性向上を推進します。

アドバイザーの企業訪問件数の目標は、50件（延べ50社）以上。

#### ●生産性向上推進アドバイザーについて

アドバイザーの田村豊氏は、1972年に当時の住友金属工業(株)（現、新日鐵住金(株)）鋼管製造所に入社。入社後は同社の事業所に所属し、約40年間勤務。

所属部署は、自動化一貫生産の部署ではなく、プレス、熱処理、切削加工、溶接施工、部品組み立てなどの加工現場であり、ムダ取り等の製造プロセスの改善に長く携わり、2009年度には「間接部門の生産性向上活動」で経営工学実践賞を受賞している。

氏は2018年に同社を退職後、「田村IE技術事務所」を設立し、IE技術を活用した企業の生産性向上等の支援に携わっている。また氏は、2019年から経営工学会関西支部支部長も務めている。

### ②高知県海外販路開拓支援事業

#### 【事業概要】

本事業は、海外展開のニーズはあるものの、費用や体制面等から単独での取り組みが困難な県内中小企業等に対し、（公財）高知県産業振興センターと企業団体が連携し、海外展開へのグループ出展をサポートすることで、県内ものづくり企業の技術力の効果的周知と、海外の販路開拓に繋げることを目的としている。

また、出展後は、海外有望商談企業を県内に招聘し、視察商談会を開催することで、多くの企業の成約に向けた後押しを行います。

●参画企業の募集は、6月中旬頃から募集を開始します。

●新卒採用 2020年3月/卒業生 回答企業：20社

	大学院	大学	高知高専		ポリテク カレッジ 高知	高等技術学校 短大 専門学校	高等学校			計
			本科	専攻科			普通	工業	商業・農業 海洋等	
採用人員	8	29	5	0	4	14	11	25	4	100

●中途採用 2019年4月1日～2020年3月31日 回答企業：26社

	大学院	大学	高知高専		ポリテク カレッジ 高知	高等技術学校 短大 専門学校	高等学校			計
			本科	専攻科			普通	工業	商業・農業 海洋等	
採用人数	7	22	2	1	2	20	26	14	12	106

●新卒採用 + 中途採用 (31社)

	大学院	大学	高知高専		ポリテク カレッジ 高知	高等技術学校 短大 専門学校	高等学校			計
			本科	専攻科			普通	工業	商業・農業 海洋等	
採用人数	15	51	7	1	6	34	37	39	16	206

※回答状況

①新卒採用のみ回答：5社 ②中途採用のみ回答：11社 ③新卒および中途採用回答：15社

◀編集後記とお礼▶

新型コロナウイルスの影響あれこれ。総会の議案決議を行う理事会は、初めての書面決議を実施。当会の定款には法人法第96条（理事会の決議の省略）の規定が定められており実施可能となりました。

また、工技センターの総会の会場は140人収容可能だが、人&人2mを確保すれば31名でほぼいっぱいの状態。なにかと気をもみましたが全て無事に終了することができました。

就職活動についてもコロナの影響。有効求人倍率の低下、感染防止のためのウェブ形式の就活面接の実施等々、来春に向けた採用活動は新たな局面を向かえそうです。

さて、（にしうち）のメルマガは今月号をもって終了し、次号からは新任の事務局長が担当します。H25年から7年間、拙いものを発行してきましたが、ご愛読ありがとうございました。（にしうち）



春野町 六条八幡宮のあじさい

